

荒川太郎右衛門地区自然再生協議会
第5回 維持管理・環境管理専門委員会 議事録

●平成27年1月17日（土）9:30～11:35、荒川太郎右衛門地区自然再生地（現地）

【議事結果】

- モトクロス場跡地Dのアンジュレーションと下池の掘削土の撒きだし方針はこれで良い。
- 中池旧流路左岸側から発生する音がかなり大きい。特に大きいと想定されるイベント開催時に計測しておく。
- 中池旧流路左岸側の特定の場所の雰囲気は景観的に良くない。木を植えるなどして隠せると良い。
- 自転車が太郎右衛門橋の下をくぐるルートの整備を整備している埼玉県に働きかけたい。すぐは難しいので、当面は橋のところに自然再生の案内看板を置きたい。
- 近隣のバス停名を「太郎右衛門地区自然再生地前」としてもらえるようにバス会社に働きかけたい。
- トイレが欲しい。

【主な議事内容】

◎協議事項

●モトクロス場跡地Dのアンジュレーション

- ・ アンジュレーションと下池の掘削土の撒きだし方針はこれで良い。
- ・ キツネが利用するかもしれない。

●太郎右衛門地区の休日の利用状況

- ・ 自転車の利用者が多い。午前中のため下流から上流に向かう人が多い。また、9時台よりも10時台の方が多い。平日は高齢者が多いが休日は若い人も多い。
- ・ 休日はスカイダイビングの利用者が多い。
- ・ 飛行場の見学で親子がいた。お子さんは就学前の小さな子だった。
- ・ 中池旧流路左岸側から発生する音がかなり大きい。特に大きいと想定されるイベント開催時に計測しておく。
- ・ 中池旧流路左岸側の特定の場所の雰囲気が景観的に良くない。木を植えるなどして隠せると良い。
- ・ 最近ではセリ摘みの人が多い。
- ・ 散歩の人は少ない。寒いせいかもしれない。犬の散歩の人はいたが少なく、多くの人はもっと早い時間帯か夕方に行っているのかもしれない。

●太郎右衛門地区の今後の整備

- ・ 休日に限らないが太郎右衛門橋の横断部分が危険である。自転車が太郎右衛門橋の下をくぐるルートの整備を整備している埼玉県に働きかけたい。すぐは難しいので、当面は橋のところに自然再生の案内看板を置きたい。橋下のルートは延命地藏さんのところを経由するようにして、お地藏さんのところに説明看板があると良い。

- ・ 近傍のバス停名を「太郎右衛門地区自然再生地前」としてもらえるようにバス会社に働きかけたい。
- ・ トイレが欲しい。水防倉庫のそばに置けないか。
- ・ 飲み物を販売すれば売れるのではないか。資金確保の手段になるかもしれない。
- ・ 下池の堤防に竹林が迫っているので堤防管理の面で注意した方が良い。

●その他

- ・ 次回の2月3日の現地開催の委員会は下池を対象とする。

以上